

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 10 月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473600371		
法人名	社会福祉法人 三篠会		
事業所名	グループホーム 甲田		
所在地	〒739-1103 広島県安芸高田市甲田町下小原3363番地 (電話) 0826-45-7777		
自己評価作成日	令和2年9月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3473600371-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年10月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりがその人らしさを活かせるよう、その思いに寄り添い、ご利用者やご家族の希望をお聞きし、落ち着いて楽しい生活が送れるよう支援している。また、グループホーム内だけでなく、地域の方々とも交流し、結びつきを深め、地域住民の一人として役割を獲得し、メリハリのある生活を送れるよう支援している。今年はコロナウイルスの影響もあり、外部への発信は十分にできていないが、感染予防に留意しながら可能な限り家族や地域との関りが持てるよう、継続的に支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は母体法人の特別養護老人ホームから始まり、ショートステイ、デイサービス、ケアハウスと地域のニーズに応じて順次発展してきた高齢者複合型施設の中の一つであり、事業所間の協力、厨房や車両など設備の共用、地域交流においても一体的な運営にて地域福祉の基盤を担っている。事業所の特徴は地域風土が豊かであり、利用者、職員ともに地元地域の方が多く、日頃より地域情報が入りやすく、顔見知りの関係も多い。交流を通じて結びつきも深くアットホームで繋がりが強い関係性が構築されている。それにより地域行事の参加や祭りでは協力し開催を行っている。地域と防災協定を結び、防災、自主避難訓練の実施、地域住民が気軽に訪れ運動や交流ができるスペースがあるなど地域に密着した活動が様々にあり、利用者の生活の活性化にも繋がっている。日常の外出も力を入れ、コロナ禍でも配慮しながら計画的に実践されている。

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念、部署目標に基づき利用者処遇や職員のケアに対する意識統一を図る。また、ミーティングや申し送り時に必ず確認するようにしている。	法人の理念、施設の基本方針や行動指針を職員それぞれに配布し、年度初めに会議を通して確認し理念を意識し実践に努めている。理念に基づき、施設目標をはじめ、部署目標、個人目標を段階的に設定し取り組んでいる。個人面談を年2回実施し、上期、下期で内容を振り返り目標に向かって個々の資質の向上へのアドバイスがなされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	これまでは地域とのつながりとして、施設主導の祭りの開催や、地域の祭りへの参加があったが、今年はコロナの影響で中止となっている。	施設すぐ傍の集会所にて、定期的にうどん作りをしており、利用者はお客としてそこへ呼ばれ交流をもったり、地域の夏祭りへ参加やよもぎ餅をついたり交流機会も多く結びつきが深まっている。ファイトクラブという地域住民が気軽に利用できるスポーツ設備の開放や近隣保育園との交流など様々に行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では全利用者に参加をしていただいております。地域の方との会話の中で理解を得ている。地域の民生委員や振興会役員の方にも参加して頂くことで情報の交換を行っている。(今年度はまだ未開催)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をもとにサービス向上に活かしている。	年4回定期的に開催している。前回会議からの3か月間の出来事などを報告し、今後のサービス向上のために意見交換をしている。今年度はコロナの影響で開催できていないが書面をもって事業報告を行っていく。	コロナ禍であるため会議は書面での報告であるが、通常、2ユニットの利用者全員が参加し、家族や民生委員、行政関係者などメンバーとなり、家族の中に地域振興会の方もいることで地域との情報を交え意見交換がなされている。パワーポイントで運営や日頃の取り組みを写真を交え分かりやすく説明している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政担当者とは運営推進会議を通じて事業所の実績やサービスの取組み等定期的に情報交換を行っており連携、質の向上に努めている。	運営推進会議において情報交換を行うほか、施設長が介護認定審査会や併設する事業所関連の都合で役所に足を運ぶ機会も多く担当者とも対話が持たれている。市の依頼で初任者研修の講師を派遣したり、地域ケア会議への参加など協力や連携も図り関係構築がなされている。	議事録の内容も、参加者の明確な記載や、意見交換や検討した内容の記述がなされることなど第三者にも分かりやすい内容での記録となるよう書式の検討が望まれます。

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・玄関の施錠は行っていない。</p>	<p>日頃から見守りを重視し、センサーの使用、事故原因を振り返り分析を反映させることで身体拘束をしないケアを確立している。年2回の研修、身体拘束防止適正化委員会での内容をミーティングで確認し全員で共有している。スピーチロックも日頃から注意を喚起し意識して取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>普段より職員が虐待について勉強し、個々の意識を高め、利用者が安心して生活できるよう心掛けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修で学ぶ機会があり、研修資料等は閲覧できるようファイルしてある。また、必要な方には支援できる体制にある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退所時に面接や調査を行い、説明、納得の上同意を得ている。サービス内容の変更点(加算等)は運営推進会議の場でも説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議だけでなく家族会などを定期的に開催することで、利用者や家族からの意見を伺えるように機会を設けている。また、要望や苦情受付の連絡先を掲示している。</p>	<p>日頃の生活の中で意向を伺い、外出の要望にもコロナ禍情勢を踏まえ、ドライブなどできる限りの外出支援を行い思いに寄り添い支援している。家族へは面会や電話連絡時に意見や要望を聞いている。法人でのアンケート調査や家族会をそれぞれ年1回定期的に行い、意向の確認機会を設け反映できるように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員面談等、定期的に意見を聞く機会を設けており、その機会以外でも随時対応している。</p>	<p>リーダーは日々の業務で随時職員の意見や思いを聴き把握しており、面談を年2回行い、職員それぞれの思いや意向を確認している。都度やりたいことの相談が気軽に行え、購入物品の要望も適宜に対応している。日中の職員体制を充実させたいとの希望から検討し早出をなくして2交代制の勤務に変更された例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の業務評価において面接を行い、職員個々の意見を聞く機会を設けている。その中で個人目標を設定し、各自の意欲向上を図るとともに意見交換を行っている。その他、法人全体としてノーリフティングケアを推奨し、腰痛予防に努める等、職員が働きやすい環境を目指している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外への研修参加の機会を設けており業務改善に努めている。新人職員については、OJTによる育成も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>関連事業所と研修会や交換実習等を通して、交流や意見交換をし業務改善に努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始前に本人と家族・職員を含めた事前面接を行い、要望や不安な点等を聞く機会を設けている。利用開始後も本人の訴えに応じて傾聴し、思いを汲みとり納得していただけるよう心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始前の事前面接を通して、本人・家族と話し合いの場を設けることで不安を取り除けるよう努めている。利用開始後も運営推進会議や家族会を通し、話を聞き思いを知る努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>専門職が連携を取りながら、本人や家族と情報交換を行い、本人の希望に添えるよう努力している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>毎日の生活において、本人の生活歴を通し、個人個人に合った役割や得意な分野を見出すことで、それぞれの思いが尊重できるよう心掛けている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族会や運営推進会議を定期的で開催することで利用者の近況報告を行っている。外出等に関しては、家族の理解を得ながら関係を保っている。また、定期的なカンファレンスに家族を招き、利用者の現状報告を行うことで、一緒に今後の生活を考えていただく機会を設けている。新型コロナの影響でカンファレンスが行えない今年は電話での意向確認や面会のタイミングで現況報告を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>施設関係者以外の来所に対しての受け入れを行っている。また、地域の祭りへの参加や施設内での祭りなどの行事にも地域の方に参加していただくことで馴染みのある方との交流を支援している。今年は不十分ではあるが、感染の状況をみながら、継続的に支援している。</p>	<p>利用者は近郊地域の方が多く、祭りなど地域行事に参加が昔馴染みの知り合いに会う機会となっている。家族の協力を得ながら行きつけのスーパーへ行くことや自宅への帰宅など外出を行い、年末年始に自宅に宿泊する方もいる。ケアハウスなど併設の事業所にも地元利用者が多く、馴染みの交流の機会となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活や行事、外出を通して交流を持ち、仲間としての意識や関わりを持つ機会が持てるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も退所後の受け入れ先等の相談や調整を行っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活において、本人の希望や意向を把握するために関わりを持つことで、本人への理解を深め、本人に合った生活環境の提供ができるよう検討している。	日々の関わりから意向を把握し、利用者毎に担当を決め個別により詳細な情報や意向を汲み取り、内容を申し送りや業務日誌にて共有している。食事や併設する複合施設の厨房で作ることで、職員は調理する時間分を利用者との関わりを深める時間として有効に捉え、利用者の思いに寄り添い関り支援に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族との面談を通して、これまでの生活歴やサービス利用歴などの把握を行うようにしている。しかし、核家族化によって連絡が取りづらい、キーパーソンが利用者様のこれまでの経過を知らない等の現状もあり情報不足の点もある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人個人の票を作成し、生活面での注意点・趣味・パーソナリティの把握に努め、情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員の意見や、気づきなどを日々記録し、家族の意向を取り入れて介護計画を作成している。</p>	<p>利用者との関わりや家族の面会などで意向を確認し、日々の生活状況や担当職員がより詳細に関わる情報をもとに、計画作成者が原案を作り、カンファレンスで職員が確認し作成している。生活記録のケアプランチェックにてモニタリングを行い計画に反映させている。必要に応じて医療との連携も行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日個々の生活状況を記録している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存のサービスに捉われないことなく、本人の状態の変化などにも合わせた、個々のニーズに対応する柔軟なサービス提供を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事に参加したり、地域の方との交流会を持ち、利用者が生き生きと生活していただけるよう支援に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者・家族の希望を重視し、適切な医療機関に受診していただけるよう支援している。</p>	<p>入所前のかかりつけ医を選ぶこともできるが、入所後、同時に併設の特別養護老人ホームに入所申込を希望する方がほとんどであることからホーム内にある嘱託医を主治医に変更する方が多い。嘱託医の往診や、協力医院との連携や専門科への受診支援が行われており、適切な医療が適宜受けられる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の状態を確認し報告している。服薬や日々の健康管理に気を配り連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>随時、病院関係者と連携を行っている。また、退院調整や退院前カンファレンスなどを相談員と介護支援専門員を中心に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医の指示のもと本人、ご家族、職員と話し合いを行っている。</p>	<p>入所前に重度化した場合について説明し確認している。看取りは希望があれば受ける形であるが、まだ看取りのケースはない。重度化など状態が変化していく時には、主治医とも連携しながら家族と話し合いを行い、併設の特別養護老人ホームに転所や医療機関への入院など適切に繋いでいる。</p>	<p>重度化した場合の指針や同意書などを文書化することで利用者の理解や意思決定の促進を図ること、現在看取りの研修がなされていない現状があることでも研修の実施など行い、職員の資質の向上に向けて取り組むことで看取りの充実した体制の整備を期待します。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>日頃から医務室との連携を図り、定期的な救急講習を受けている。救急マニュアルにも目を通し、職員の意識付けをするよう心掛けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防災訓練を実施しており、小原地域の自主防災訓練にも参加している。</p>	<p>併設する他の事業所と合同にて年間2回避難訓練を実施している。事業間での協力体制も確立しており災害マニュアルや備蓄の整備など緊急の備えがしっかりなされている。併設の施設全体で地域とも防災協定を結んでおり、地域の自主防災訓練にも参加している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して損なわれることがないよう配慮し、記録の取り扱いについても慎重に行っている。	職員も地元地域の方が多く、利用者との所縁やなじみ、地域の情報など関係性が多様にある状況下であり、利用者とも親しみが深い。言葉遣いなど接遇や個人情報の取り扱いには意識を持って取り組んでいる。いき過ぎる場面があればリーダーが適宜伝えるなど細心に注意を払った対応を努めている。	職員の言葉遣いに指標があいまいな点があるため、指標を文書化するなど明確化を図ることで、より一層の職員の接遇向上に期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人自ら行動し、意思決定できるような支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせた暮らしが送れるよう、その人らしい生活の支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人らしさやその人の好みのおしゃれを出来るだけ提供するよう心掛け支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の好みについては、利用者に嗜好調査を実施している。食事の準備や後片付けはお手伝いいただきながら一緒に関わりを持っている。その他、利用者の嚥下状態に合わせて、食形態の調整を行っている。	年2回嗜好調査を行い、利用者の好みなどを食事のメニューに適宜反映させている。家族への内食会の実施や、行事でバーベキューや外食を計画したりし、おやつ作りの頻度も多く行っているなど利用者の食事が楽しみとなる取り組みや工夫がなされている。	

自己評価	外部評価	項 目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事形態を個人にあったものを提供することで、栄養面だけでなく食事量の確保に努めている。水分摂取もこまめに提供することで摂取量の確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり口腔ケアの声掛け、促しを行い実施している。自分で口腔ケアが困難な方には職員が介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中、夜間とその方に合わせたトイレ誘導を行い、リハビリパンツ・尿とりパットへの失敗、皮膚トラブルの軽減に努めている。トイレ誘導時には蒸しタオルでの清拭を行い、気持ちよく排泄していただけるよう心掛けている。</p>	<p>利用者個々の状態やその時の様子に合わせた個別支援にて排泄ケアを実践している。日頃から様子や行動を注意深く着目し状態を把握しながら誘導を行い、それぞれの排泄におけるパターンを掴むことで、個々の排泄の自立支援に繋げている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々、ラジオ体操やリハビリ体操、施設敷地内の散歩等の運動を行い、水分補給にも気を付けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの体調や気持ちを尊重し、部署の生活支援に沿って、行事等との調整を行いながらゆっくと楽しんでいる。</p>	<p>週2回午後から入浴を行っている。入りたくない方には無理強いせず、日にち変更や時間をずらすなど柔軟に対応し、入浴時間も希望に合わせて調整している。ゆず湯など季節を感じられるお風呂や入浴後も好きな衣服が着られるように利用者準備をして心地よい入浴となるように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>利用者の生活リズムを尊重しな がら散歩や体操等を通じて心地 よい疲労感を感じていただける よう配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>個人の服薬ファイルを作成し、 職員全員が目を通すことで意識 を高め、服薬に対する認識をき ちんと持つよう努めている。状 態に応じて、職員間で話し合 い、必要に応じて医師、看護 師に指示を仰いでいる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの能力や今までの生 活歴等を参考にしながら役割を 見つけ、楽しみながら生活でき るよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>事業所の裏庭には季節に合わせ た菜園や花づくりができるよう 整備し、一緒に取り組めるよう 配慮している。また、家族と一 緒に出掛ける外出行事や地域 行事の際には地域住民と一緒 に出掛けるなど支援している。</p>	<p>施設敷地内を散歩したり、裏 庭の菜園で活動するなど外気に 触れる支援が定着している。外 出の頻度も多く設け、ドライブ は1週間に2回、少人数で全員 が万遍なく行えるよう計画し 実施している。併設事業所の車 両や運転手の協力も得る事が でき、道の駅に行ったり、花 見や紅葉狩りなど取り組みが 充実している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>原則、お金を持つことは控えて いただいている。本人や家族の 希望があれば、その都度、相 談しながら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目 (A棟)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人や家族の希望があれば支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は1日に3回、活動できる利用者とともに清掃を行い、清潔を保つようにしている。ホールには外出行事の記念写真を置き、毎日の生活活動の制作等を飾るなどし、利用者の安らげる場所づくりを心掛けている。</p>	<p>リビングはスペースも広く、天井が高く梁の柱が印象的な空間である。天窓が備わりそこからの日差しが差し込むことで室内も明るい。ソファにてくつろいで過ごせるよう配慮がなされている。利用者の作品を飾ったりと和める雰囲気になっており、廊下の奥に仏壇が置いてあることで朝晩と参る習慣の方もいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事や談話、テレビを楽しむスペース等を設け、利用者同士で思い思いに過ごせる場の提供に努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は本人や家族と相談しながら、在宅等で使用されていた馴染みのものを持ち込んでいただく等して本人が安心して過ごせる居心地のよい部屋となるよう工夫、協力している。</p>	<p>ベッド、タンス、洗面台は備え付けである。室内は広い造りとなっており、入居前に話を聞き生活動線や配置など心身状態や思いに寄り添い利用者が過ごし易いように配慮されている。馴染みの家具など自由に持参でき利用者それぞれに落ち着いて過ごせる空間づくりとなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>生活上の注意点、趣味などを知り、職員間で情報共有し、サービス向上に努めている。</p>		

V アウトカム項目(A棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念、部署目標に基づき利用者処遇や職員のケアに対する意識統一を図る。また、ミーティングや申し送り時に必ず確認するようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	これまでは地域とのつながりとして、施設主導の祭りの開催や、地域の祭りへの参加があったが、今年はコロナの影響で中止となっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では全利用者に参加をさせていただいており、地域の方との会話の中で理解を得ている。地域の民生委員や振興会役員の方にも参加して頂くことで情報の交換を行っている。(今年度はまだ未開催)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年4回定期的に開催している。前回会議からの3か月間の出来事などを報告し、今後のサービス向上のために意見交換をしている。今年度はコロナの影響で開催できていないが書面をもって事業報告を行っていく。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	行政担当者とは運営推進会議を通じて事業所の実績やサービスの取組み等定期的に情報交換を行っており連携、質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・玄関の施錠は行っていない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>普段より職員が虐待について勉強し、個々の意識を高め、利用者が安心して生活できるよう心掛けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修で学ぶ機会があり、研修資料等は閲覧できるようファイルしてある。また、必要な方には支援できる体制にある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退所時に面接や調査を行い、説明、納得の上同意を得ている。サービス内容の変更点(加算等)は運営推進会議の場でも説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議だけでなく家族会などを定期的に開催することで、利用者や家族からの意見を伺えるように機会を設けている。また、要望や苦情受付の連絡先を掲示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員面談等、定期的に意見を聞く機会を設けており、その機会以外でも随時対応している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の業務評価において面接を行い、職員個々の意見を聞く機会を設けている。その中で個人目標を設定し、各自の意欲向上を図るとともに意見交換を行っている。その他、法人全体としてノーリフティングケアを推奨し、腰痛予防に努める等、職員が働きやすい環境を目指している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外への研修参加の機会を設けており業務改善に努めている。新人職員については、OJTによる育成も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	関連事業所と研修会や交換実習等を通して、交流や意見交換をし業務改善に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用開始前に本人と家族・職員を含めた事前面接を行い、要望や不安な点等を聞く機会を設けている。利用開始後も本人の訴えに応じて傾聴し、思いを汲みとり納得していただけるよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始前の事前面接を通して、本人・家族と話し合いの場を設けることで不安を取り除けるよう努めている。利用開始後も運営推進会議や家族会を通し、話を聞き思いを知る努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>専門職が連携を取りながら、本人や家族と情報交換を行い、本人の希望に添えるよう努力している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>毎日の生活において、本人の生活歴を通して、個人個人に合った役割や得意な分野を見出すことで、それぞれの思いが尊重できるよう心掛けている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族会や運営推進会議を定期的に開催することで利用者の近況報告を行っている。外出等に関しては、家族の理解を得ながら関係を保っている。また、定期的なカンファレンスに家族を招き、利用者の現状報告を行うことで、一緒に今後の生活を考えていただく機会を設けている。新型コロナの影響でカンファレンスが行えない今年は電話での意向確認や面会のタイミングで現況報告を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>施設関係者以外の来所に対しての受け入れを行っている。また、地域の祭りへの参加や施設内での祭りなどの行事にも地域の方に参加していただくことで馴染みのある方との交流を支援している。今年は不十分ではあるが、感染の状況をみながら、継続的に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活や行事、外出を通して交流を持ち、仲間としての意識や関わりを持つ機会が持てるよう努めている。認知症の症状の強い方も集団生活の中で無理なく、自分のペースを大切にできるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も退所後の受け入れ先等の相談や調整を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活において、本人の希望や意向を把握するために関わりを持つことで、本人への理解を深め、本人に合った生活環境の提供ができるよう検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族との面談を通して、これまでの生活歴やサービス利用歴などの把握を行うようにしている。しかし、核家族化によって連絡が取りづらい、キーパーソンが利用者様のこれまでの経過を知らない等の現状もあり情報不足の点もある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人個人の票を作成し、生活面での注意点・趣味・パーソナリティの把握に努め、情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員の意見や、気づきなどを日々記録し、家族の意向を取り入れて介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日個々の生活状況を記録している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存のサービスに捉われることなく、本人の状態の変化などにも合わせた、個々のニーズに対応する柔軟なサービス提供を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事に参加したり、地域の方との交流会を持ち、利用者が生き生きと生活していただけるよう支援に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者・家族の希望を重視し、適切な医療機関に受診していただけるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目 (B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者の状態を確認し報告している。服薬や日々の健康管理に気を配り連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	随時、病院関係者と連携を行っている。また、退院調整や退院前カンファレンスなどを相談員と介護支援専門員を中心に行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医の指示のもと本人、ご家族、職員と話し合いを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	日頃から医務室との連携を図り、定期的な救急講習を受けている。救急マニュアルにも目を通し、職員の意識付けをするよう心掛けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練を実施しており、小原地域の自主防災訓練にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して損なわれることがないように配慮し、記録の取り扱いについても慎重に行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人自ら行動し、意思決定できるような支援を行っている。また、自己決定ができない利用者についても日々の様子から訴えに耳を傾け、意向に沿えるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせた暮らしが送れるよう、その人らしい生活の支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人らしさやその人の好みのおしゃれを出来るだけ提供するよう心掛け支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の好みについては、利用者に嗜好調査を実施している。 食事の準備や後片付けはお手伝いいただきながら一緒に関わりを持っている。その他、利用者の嚥下状態に合わせて、食形態の調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目 (B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事形態を個人にあったものを提供することで、栄養面だけでなく食事量の確保に努めている。水分摂取もこまめに提供することで摂取量の確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり口腔ケアの声掛け、促しを行い実施している。自分で口腔ケアが困難な方には職員が介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中、夜間とその方に合わせたトイレ誘導を行い、リハビリパンツ・尿とりパットへの失敗、皮膚トラブルの軽減に努めている。トイレ誘導時には蒸しタオルでの清拭を行い、気持ちよく排泄していただけるよう心掛けている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々、ラジオ体操やリハビリ体操、施設敷地内の散歩等の運動を行い、水分補給にも気を付けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの体調や気持ちを尊重し、部署の生活支援に沿って、行事等との調整を行いながらゆっくと楽しんでいただけるよう入浴していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>利用者の生活リズムを尊重しな がら散歩や体操等を通じて心地 よい疲労感を感じていただける よう配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>個人の服薬ファイルを作成し、 職員全員が目を通すことで意 識を高め、服薬に対する認識を きちんと持つよう努めている。 状態に応じて、職員間で話し 合い、必要に応じて医師、看 護師に指示を仰いでいる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの能力や今までの生 活歴等を参考にしながら役割を 見つけ、楽しみながら生活でき るよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>事業所の裏庭には季節に合わせ た菜園や花づくりができるよう 整備し、一緒に取り組めるよう 配慮している。また、家族と一 緒に出掛ける外出行事や地域 行事の際には地域住民と一緒 に出掛けるなど支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>原則、お金を持つことは控えて いただいている。本人や家族の 希望があれば、その都度、相 談しながら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(B棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人や家族の希望があれば支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は1日に3回、活動できる利用者とともに清掃を行い、清潔を保つようにしている。ホールには外出行事の記念写真を置き、毎日の生活活動の制作等を飾るなどし、利用者の安らげる場所づくりを心掛けている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事や談話、テレビを楽しむスペース等を設け、利用者同士で思い思いに過ごせる場の提供に努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は本人や家族と相談しながら、在宅等で使用されていた馴染みのものを持ち込んでいただく等して本人が安心して過ごせる居心地のよい部屋となるよう工夫、協力している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>生活上の注意点、趣味などを知り、職員間で情報共有し、サービス向上に努めている。</p>		

V アウトカム項目(B棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム甲田

作成日 令和2年12月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議事録内容について、参加者の明確な記載や、意見交換や検討した内容の記述が第三者が見た時に分かりにくい。	参加者の明確な記載や意見交換や検討、伝達事項を分かりやすく記載する。	様式の見直しと意見や検討内容など分かりやすく記載する。	次回の運営推進会議より実施。
2	14	言葉遣いなどの接遇や個人情報の取扱いについて、地元地域の職員も多く、地域の情報など関係性が多様にあることから配慮や注意が必要である。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して損なわれないよう配慮し、個人情報の取扱いも慎重に行う。	職員の接遇に関する指標を文書化する。	6ヶ月
3	12	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら取り組みを行っているが、指針や同意書など文書で示したものが無い。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行っているが、その際に指針や同意書など文書化したものを活用する。	グループホームに沿った内容の指針や同意書を作成する。	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。